

単元名	学びのとびら			教科書の ページ	上 p.2～7
配当時数	1 時間	活動時期	4 月中旬	学習指導要 領の内容	第4 学年の内容

時	目標	学習活動
1	・算数科の学び方，問題解決の方法やノートづくり方を共有したり，教科書の使い方を確認したりして，子どもたちが自ら教科書を有効に活用して，主体的，対話的で深い学びを実現できるようにする。 上p.2～7	①「もくじ」（5分） 表紙裏～p.1 ・「前の学習」や「後の学習」が示されていることにふれ，算数の学習はこれまでの学習を基に積み重ねられていること，以後の学習へつながっていることに気づかせる。また，p.1 下欄を見て，前学年までに働かせ，成長してきた数学的な見方・考え方を想起させる。 ・表紙裏ページを見て，デジタルコンテンツが設定されていることやその使用方法，使用上の留意点にふれる。 ②「授業ページ」（30分） p.2～3 ・前学年までの学習で解決できる問題について，数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を実際に遂行することを通して，算数科における学び方や問題解決の方法を認識させる。 ③「算数マイノートをつくろう」（7分） p.4～5 ・「授業ページ」におけるノートの例を参考にしながら，ノートづくり方を学級で共有する。 ④「“新しい算数”を使った学習の進め方」（3分） p.6～7 ・教科書の構成や記号の意味について調べたいときには，随時本ページを見るとよいことを伝える。 ・巻末にはオプション教材集「新しい算数 プラス」が設定されていること，その中の「ほじゅうのもんだい」（補充問題），「ふりかえりコーナー」（知識の振り返り），「おもしろもんだいにチャレンジ」（数学の世界での発展）があることを紹介し，適宜活用するとよいことを知らせる。 ※「指導者・保護者のみなさまへ」について これらの記述はいずれも教科書の編集意図に加え，子どもたちが学習習慣（特に家庭での自学自習）を身につけるためには家庭での理解・協力が不可欠であると考え，掲載したものである。保護者の方々と連携を図りながら，教科書を有効に活用していただきたい。

単元名	1. 整数と小数のしくみをまとめよう [整数と小数]			教科書の ページ	上 p.8～15, 142
配当時数	5 時間	活動時期	4 月中旬	学習指導要 領の内容	A(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		十進位取り記数法によって表された整数及び小数の表し方についての理解を深め、数学的表現を適切に活用して数の表し方の仕組みを考える力を養うとともに、十進数としての特徴を統合的にとらえようとしたり、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	整数及び小数について、10 倍、100 倍、1000 倍 ($1/10$, $1/100$, $1/1000$) したときの位や小数点の位置の移動の仕方を理解し、それらの大きさの数をつくることができる。
	思考・判断・表現	数の表し方に着目し、整数及び小数について十進数として統合的にとらえるとともに、十進位取り記数法の仕組みを基に図や式を用いて計算の仕方を考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	整数及び小数の十進数としての特徴について統合的にとらえたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	2. 直方体や立方体のかさの表し方を考えよう [直方体や立方体の体積]			教科書のページ	上 p.16～31, 143
配当時数	8 時間	活動時期	4 月下旬～ 5 月上旬	学習指導要領の内容	B(4)ア(ア)(イ), イ(ア)

単元の目標		立体の体積について理解し、立体を構成する要素に着目して体積の求め方を考える力を養うとともに、数学的表現を用いて体積の求め方を表した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	体積の単位を知り、計算による立方体及び直方体の体積の求め方について理解するとともに、体積を求めることができる。
	思考・判断・表現	体積の単位や立体を構成する要素に着目し、立体の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を統合的にとらえ、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	立体の体積の単位や体積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	3. 変わり方を調べよう(1) [比例]			教科書の ページ	上 p.32～38
配当時数	4 時間	活動時期	5 月中旬	学習指導要 領の内容	C(1)ア(7), イ(7)

単元の目標		簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる 2 つの数量やそれらの関係を表を用いて考える力を養うとともに、伴って変わる 2 つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見いだすことができる。
	思考・判断・表現	伴って変わる 2 つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係をとらえ、比例の関係を使った問題解決の仕方を考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	上 p.39
配当時数	—	活動時期	5 月中旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 上p.39	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	4. かけ算の世界を広げよう [小数のかけ算]			教科書のページ	上 p.40～51, 144
配当時数	9 時間	活動時期	5 月中旬～ 6 月上旬	学習指導要領の内容	A(3)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(6)

単元の目標		乗数が小数の場合の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を乗法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、乗法の意味をとらえ直したり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	乗数が小数の場合の乗法の意味や、小数の乘法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算ができる。
	思考・判断・表現	乗法の意味に着目し、乗法の性質を活用して、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	乗数が小数の場合の乗法の意味をとらえ直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	5. わり算の世界を広げよう [小数のわり算]			教科書のページ	上 p.52～63, 144
配当時数	9 時間	活動時期	6 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	A(3)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)

単元の目標		除数が小数の場合の除法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を除法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、除法の意味をとらえ直したり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	除数が小数の場合の除法の意味について理解するとともに、除数が小数の場合の除法の計算ができる。
	思考・判断・表現	除法の意味に着目し、除法の性質を活用して、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	除数が小数の場合の除法の意味をとらえ直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	小数の倍			教科書のページ	上 p.64～69
配当時数	5 時間	活動時期	6 月下旬	学習指導要領の内容	A(3)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		既習の倍の意味を基に基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について理解し、倍の意味を図や式を用いて考える力を養うとともに、整数と小数の倍の意味を統合的にとらえたりこれまでの倍の学習を生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について理解し、基準量や比較量、倍を求めたり、割合で比較したりすることができる。
	思考・判断・表現	2 量の関係に着目し、基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について、整数倍の意味と統合的にとらえたり、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	どんな計算になるのかな？			教科書のページ	上 p.70
配当時数	2 時間	活動時期	6 月下旬	学習指導要領の内容	A(3)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1 ・ 2	・ 小数の乗法や除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を高める。 上p.70	①図や問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。	[知技]適切な立式をして、問題を解決することができる。【観察・ノート】 [態度]既習を活用して、どのような式で解決すればよいかを考えようとしている。【観察・ノート】

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	上 p.71
配当時数	—	活動時期	6 月下旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・ 既習内容の理解を確認する。 上p.71	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	6. 形も大きさも同じ図形を調べよう [合同な図形]			教科書の ページ	上 p.72～83, 144
配当時数	8 時間	活動時期	7 月上旬～中 旬	学習指導要 領の内容	B(1)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し，図形を構成する要素や図形間の関係に着目して図形の性質について考える力を養うとともに，図形を合同という観点で考察した過程を振り返り，合同の観点から既習の図形をとらえ直したり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解するとともに，合同な図形を弁別したりかいたりすることができる。
	思考・判断・表現	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し，合同な図形の性質を見だし，その性質を筋道を立てて説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	合同という観点で既習の図形の性質を見直したり，対角線に着目して合同な図形をとらえたりしたことを振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	7. 図形の角を調べよう [図形の角]			教科書の ページ	上 p.84～95, 145
配当時数	6 時間	活動時期	9 月上旬～中 旬	学習指導要 領の内容	B(1)ア(イ), イ(ア) 内容の取扱い(2)

単元の目標		三角形や四角形の内角の和について理解し、それを用いて多角形の角の性質を考える力を養うとともに、帰納的及び演繹的に考えるよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	三角形の内角の和について理解し、それを基に四角形や他の多角形の内角の和を求めることができる。
	思考・判断・表現	図形の角に着目し、三角形の内角の和についての性質を見いだし、それを基に四角形や他の多角形の内角の和について演繹的に考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	三角形の内角の和が 180° であることを基に、四角形や他の多角形の性質を考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	8. 整数の性質を調べよう [偶数と奇数, 倍数と約数]			教科書の ページ	上 p.96～109, 146
配当時数	12 時間	活動時期	9 月中旬～下旬	学習指導要 領の内容	A(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(1)

単元の目標		偶数, 奇数及び倍数, 約数などについて知り, 整数の性質についての理解を深め, 観点を決めて整数を類別したり数の構成について考えたりする力を養うとともに, 整数を乗法や除法に着目して類別した過程を振り返り, そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	偶数, 奇数, 及び倍数, 約数について知り, それらの意味について理解するとともに, 偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めたりすることができる。
	思考・判断・表現	乗法及び除法に着目し, 整数を偶数と奇数の 2 つの集合に類別してとらえたり, 倍数と約数の集合をとらえたりするとともに, 整数の性質を図や式を用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	整数の性質について, 観点を決めて類別したり, 倍数と約数の集合をとらえたりした過程や結果を振り返り, 多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	9. 分数と小数, 整数の関係を調べよう [分数と小数, 整数の関係]			教科書の ページ	上 p.110～119, 146
配当時数	6 時間	活動時期	10 月上旬～ 中旬	学習指導要 領の内容	A(4)ア(ア)(イ), イ(イ)

単元の目標		整数の除法の結果を分数で表すこと及び分数と小数, 整数の関係について理解し, 分数の表現に着目してこれまで学習した分数の意味をまとめるとともに, 除法の結果を分数で表したり分数と小数, 整数の関係について考えたりした過程を振り返り, そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	整数の除法の結果は分数を用いると 1 つの数で表せることや, 分数と小数, 整数の関係を理解するとともに, $a \div b$ を a/b , a/b を $a \div b$ とみたり, 分数を小数で表したり, 小数, 整数を分数の形になおしたりすることができる。			
	思考・判断・表現	分数の表現に着目し, 分数を整数の除法の結果としてとらえたり, 分数と小数, 整数の関係をとらえたりするとともに, それらを分数や式を用いて考え表現している。			
	主体的に学習に取り組む態度	整数の除法の結果を分数で表したり, 分数と小数, 整数の関係を考えたりした過程や結果を振り返り, 多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。			

単元名	考える力をのばそう「差や和に注目して」			教科書の ページ	上 p.120～121
配当時数	2 時間	活動時期	10 月中旬	学習指導要 領の内容	C(1)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1 ・ 2	・ 変化する 2 つの数量とその和や差に着目し, 表に表すことを通して, 変化の規則を見いだし問題を解決する能力を伸ばす。 上p.120～121	①問題場面を表に表しながら, 変化の仕方を考察する。 ②変化の規則性に気づき, 問題を解決する。	【思判表】表を活用して, 変化する 2 つの数量とその和や差の規則性に着目し, 問題の解決の仕方を考え, 説明している。【観察・ノート】 【態度】2 つの数量の関係とその和や差を表に表し問題を解決したことを振り返り, 価値づけている。 【観察・ノート】

単元名	算数で読みとこう 「日本をおとずれる外国の人たち」			教科書の ページ	上 p.122～123
配当時数	2 時間	活動時期	10 月中旬	学習指導要 領の内容	D(1)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1 ・ 2	・既習事項を活用してデータを考察し、問題解決能力や情報処理能力を伸ばす。 上p.122～123	①日本を訪れた外国人旅行者に関するデータを見て、目的に応じた必要な情報を活用して問題を解決する。	[思判表]データに着目して、目的に応じて情報を選択して問題の解決方法を考え、解決の根拠を説明している。【観察・ノート】 [態度]対話的に問題解決に取り組むとともに、データの読み取りや問題解決の結果やプロセスを振り返り、生活に生かそうとしている。【観察・ノート】

単元名	おぼえているかな？		教科書のページ	上 p.124
配当時数	—	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 上p.124	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	プログラミングを体験しよう！ 「倍数を求める手順を考えよう」		教科書のページ	上 p.126
配当時数	—	活動時期	9 月中旬～	学習指導要領の内容

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・倍数を求めるためのプログラミングについて、倍数の性質を基に論理的に考え、説明することができる。 上p.126	①「プログラミング」の意味を知る。 ②コンピューターを使って 3 の倍数を求める手順を考え、説明する。 * デジタルコンテンツ設定有	[思判表]倍数の性質に着目して、倍数を求めるプログラミングについて筋道立てて考え、説明している。【観察・ノート】

単元名	かたちであそぼう「ブロック遊び」		教科書のページ	上 p.127
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要領の内容

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・ブロックを組み合わせて形を作る活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わう。 上p.127	①ブロックを組み合わせて、六角形や大きな三角形、台形に敷き詰める。 * デジタルコンテンツ設定有	[思判表]辺の長さ、角の大きさに着目して、いろいろなブロックの組み合わせを考え、説明している。【観察・ノート】 [態度]ブロックの組み合わせを工夫しながら、いろいろな形を作ろうとしている。【観察・ノート】

単元名	10. 分数のたし算, ひき算を広げよう [分数のたし算とひき算]			教科書の ページ	下 p.2～18, 144
配当時数	11 時間	活動時期	10 月中旬～ 下旬	学習指導要 領の内容	A(4)ア(ウ)(エ), イ(ア) (5)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し, 通分, 約分の仕方や計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに, 分数の性質や数学的表現を用いて通分, 約分の仕方や計算の仕方を考えた過程を振り返り, 今後の学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	分数の性質や通分, 約分の意味, 異分母の分数の加法及び減法の意味について理解するとともに, 通分や約分, 異分母の分数の加減計算ができる。
	思考・判断・表現	単位分数に着目して, 分数の相当及び大小関係や, 異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	通分や約分の意味や, 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を, 図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り, 多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 学習したことを今後の学習に活用しようとしたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	下 p.19
配当時数	—	活動時期	10 月下旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
一	・既習内容の理解を確認する。 下p.19	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	11. ならした大きさを考えよう [平均]			教科書の ページ	下 p.20～27
配当時数	5 時間	活動時期	11 月上旬～ 中旬	学習指導要 領の内容	D(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法について図や式を用いて考える力を養うとともに、平均の意味や平均を求める方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	平均の意味について理解するとともに、測定した結果の平均を求めることができる。
	思考・判断・表現	概括的にとらえることに着目して、測定した結果を平均する方法や平均から全体量を求める方法を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	平均の意味や、測定した結果を平均する方法を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	12. 比べ方を考えよう(1) [単位量あたりの大きさ]			教科書の ページ	下 p.28～42
配当時数	10 時間	活動時期	11 月中旬～ 下旬	学習指導要 領の内容	C(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		異種の 2 量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、単位量当たりの大きさをを用いた比べ方や表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、単位量当たりの大きさの意味や表し方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	異種の 2 量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量当たりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。
	思考・判断・表現	異種の 2 量の割合としてとらえられる数量の關係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	下 p.43
配当時数	—	活動時期	11 月下旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
一	・既習内容の理解を確認する。 下p.43	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	13. 面積の求め方を考えよう [四角形と三角形の面積]			教科書の ページ	下 p.44～64, 145～146
配当時数	11 時間	活動時期	12 月上旬～ 中旬	学習指導要 領の内容	B(3)ア(ア), イ(ア) A(6)ア(ア), イ(ア) C(1)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		四角形や三角形の面積の求め方を理解し、図形の構成要素に着目して面積の求め方を考える力を養うとともに、四角形や三角形の面積の求め方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式を用いて面積を求めることができる。
	思考・判断・表現	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、既習の面積の求め方を基にして、図や式を用いて面積の求め方を考え、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積を、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	下 p.65
配当時数	—	活動時期	12 月中旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 下p.65	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	14. 比べ方を考えよう(2)〔割合〕			教科書のページ	下 p.66～82
配当時数	9 時間	活動時期	1 月中旬～下旬	学習指導要領の内容	C(3)ア(ア)(イ), イ(ア)内容の取扱い(4)

単元の目標		2 つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、百分率による割合の表し方を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	2 つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。
	思考・判断・表現	2 つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	2 つの数量の割合の比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	下 p.83
配当時数	—	活動時期	1 月下旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・ 既習内容の理解を確認する。 下p.83	①「おぼえているかな？」に取り組む。	【知技】既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	15. 割合をグラフに表して調べよう [帯グラフと円グラフ]			教科書の ページ	下 p.84～94
配当時数	8 時間	活動時期	1 月下旬～ 2 月上旬	学習指導要 領の内容	D(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(5)

単元の目標		円グラフや帯グラフの特徴とそれらの使い方や、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断したり、その結論について多面的にとらえ考察したりする力を養うとともに、統計的な問題解決の方法について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの使い方や、データの収集や適切な手法の選択などを理解し、統計的な問題解決をすることができる。
	思考・判断・表現	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的にとらえ考察している。
	主体的に学習に取り組む態度	統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	16. 変わり方を調べよう(2) [変わり方調べ]			教科書の ページ	下 p.95～99
配当時数	1 時間	活動時期	2 月上旬	学習指導要 領の内容	A(6)ア(7), イ(7)

単元の目標		伴って変わる 2 つの数量の関係を表す式についての理解を深め、伴って変わる 2 つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式、図を用いて変化や対応の特徴について考える力を養うとともに、伴って変わる 2 つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	伴って変わる 2 つの数量について、表や式、図を用いて変化や対応の特徴を調べ、式に表すことができる。
	思考・判断・表現	伴って変わる 2 つの数量の関係に着目し、表や式、図を用いてその関係を説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	伴って変わる 2 つの数量の関係について、表や式、図を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	17. 多角形と円をくわしく調べよう [正多角形と円周の長さ]			教科書の ページ	下 p.100～113
配当時数	9 時間	活動時期	2 月中旬～下旬	学習指導要 領の内容	B(1)ア(ウ)(エ), イ(ア) 内容の取扱い(3) A(6)ア(ア), イ(ア) C(1)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		正多角形の性質や円周率の意味について理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えたり図形の性質を見いだしたりする力を養うとともに、円と関連させて正多角形の性質をとらえたり、円周率について帰納的に考察したりした過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	正多角形の性質や円周率の意味を理解し、円を使って正多角形をかいたり、円周率を使って直径や円周の長さを求めたりすることができる。
	思考・判断・表現	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、正多角形の性質を見いだしたり、円を使った正多角形のかき方を考えたり、円周率が一定であることをとらえたりして、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	円と関連させて正多角形の性質やかき方を考えたり、円周率について帰納的に考えたりした過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	18. 立体をくわしく調べよう [角柱と円柱]			教科書のページ	下 p.114～123, 147
配当時数	7 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要領の内容	B(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		角柱，円柱の意味や性質について理解し，図形を構成する要素に着目して図形の性質を見いだしたり図形の展開図のかき方について考えたりする力を養うとともに，図形を角柱，円柱として考察した過程を振り返り，既習の図形を角柱としてとらえ直したり，今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	角柱，円柱の意味や性質について理解し，角柱，円柱の展開図をかいて構成することができる。
	思考・判断・表現	図形を構成する要素に着目し，角柱，円柱の構成要素やそれらの位置関係の性質を見だし，その性質を基に既習の図形をとらえ直し，説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	既習の図形を角柱としてとらえ直したり，角柱，円柱の性質を考察したりした過程や結果を振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	考える力をのばそう 「もとにする大きさに注目して」			教科書のページ	下 p.124～125
配当時数	2 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要領の内容	C(3)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	・2つの数量の関係について，基準量に着目し，図を用いて考えることを通して，問題を解決する能力を高める。 下p.124～125	①15%増量したシャンプーについて，増量後の量が 460mL のとき，増量前のシャンプーの量の求め方を考える。 ②基準量を□mL として，量の関係を図に表して考える。	[思判表]図を活用して基準量と比較量の関係をとらえ，答えの求め方を考え説明している。【観察・ノート】 [態度]数量の関係を図に表し問題を解決したことを振り返り，価値づけている。【観察・ノート】
2		①20%軽量化されたノートについて，軽量化後の重さが 96g のとき，軽量化前のノートの重さの求め方を考える。 ②量の関係を図に表して，求め方を考える。	

単元名	算数で読みとこう 「国土をくわしく調べよう」			教科書のページ	下 p.126～127
配当時数	2 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要領の内容	D(1)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	・既習事項を活用してデータを考察し、問題解決能力や情報処理能力を伸ばす。 下p.126～127	①日本の森林についてのデータを見て、目的に応じた必要な情報を用いて問題を解決する。	[思判表] データに着目して、目的に応じて情報を選択して問題の解決方法を考え、解決の根拠を筋道立てて説明している。 【観察・ノート】 [態度] 目的に応じた情報をデータから読み取り、それらを活用して問題を解決したことを振り返り、価値づけている。 【観察・ノート】
2		①日本全体や都道府県ごとの国土の利用の様子を表したデータを見て、情報を読み取り問題を解決したり、話し合ったりする。	

単元名	5年のふくしゅう			教科書のページ	下 p.128～132
配当時数	5 時間	活動時期	3 月中旬	学習指導要領の内容	A～D

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1 ～ 5	・既習内容の理解を確認する。 下p.128～132	①問題を解決する。	[知技] 既習内容について解決の仕方を理解し、問題を解決することができる。 【観察・ノート】

単元名	プログラミングを体験しよう！ 「正多角形をかく手順を考えよう」			教科書のページ	下 p.134
配当時数	—	活動時期	2 月中旬～	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・正多角形をかくためのプログラミングについて、正多角形の性質を基に論理的に考え、説明することができる。 下p.134	①コンピューターを使って正多角形をかく手順を考え、説明する。 ＊デジタルコンテンツ設定有	[思判表] 正多角形の性質に着目して、正多角形をかくプログラミングについて筋道立てて考え、説明している。 【観察・ノート】

単元名	かたちであそぼう「しきつめもよう」			教科書のページ	下 p.135
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	基本図形の敷き詰めを通して, 図形に親しみ, その美しさを感じ得る。 下p.135	①平行四辺形の一部を変形していつて, おもしろい敷き詰め模様を作る。 * デジタルコンテンツ設定有	[態度]おもしろい敷き詰め模様を作ろうとしている。【観察・ノート】